大草紙四十六編

へ13
3414
82

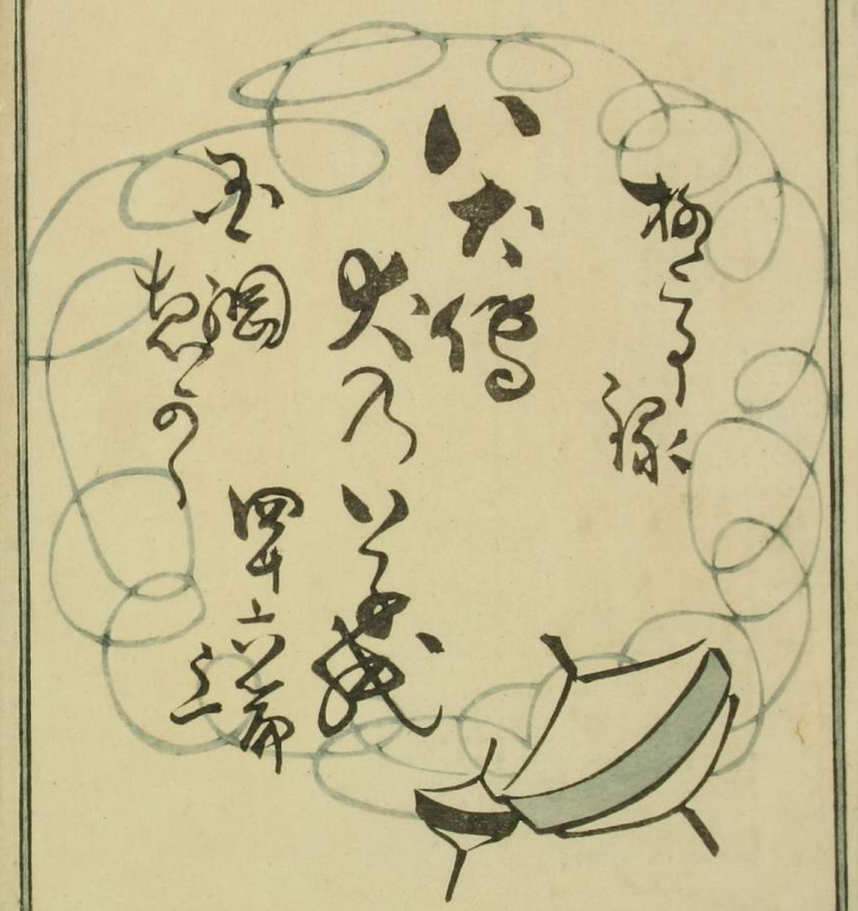
へ13
3414
87

13
3414
87

13
3414
81

梅ちる縁
いたゞ僧
大乃いと哉
ぞ周
ちの〳〵
畢六編

第壹



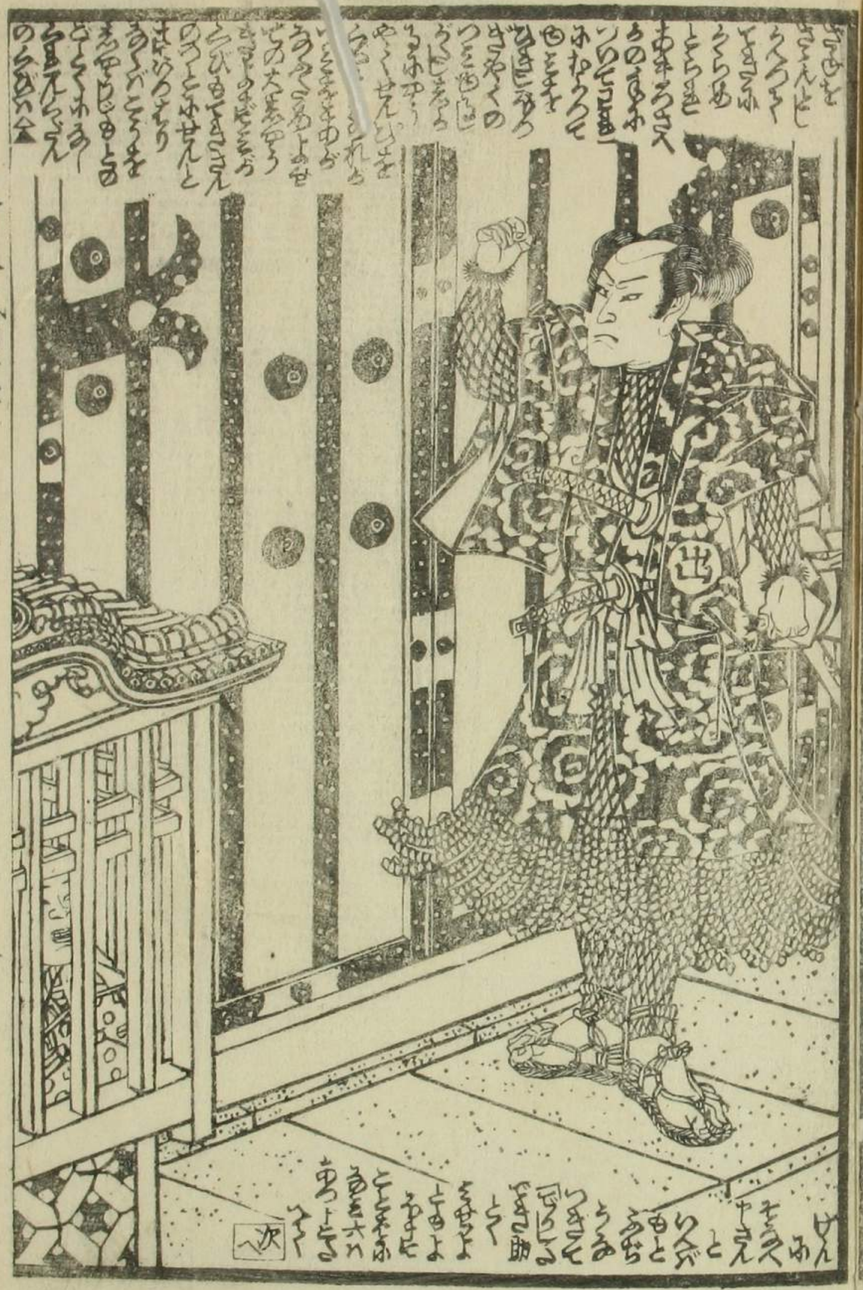
印判の印字いんと讀ハ訛ゆゑ正しくハ漢音いぬ呉音いに也と音勻の學問に精しき人いへりきらば朱ゆておれ印もおらいぬと云く通用すべきなる事を説人ハんとすれ不學と一笑しくまつるを序とす

雪梅芳譚四拾六編

柳亭
種彦記

大江親兵衛仁
根角谷中二

南



種彦録
國綱画

御免疝積湯
せんきの妙薬
御用藥所
信州上田東山堂製
一包 四十八銅
一包 廿四銅

本家
實母散
私方実母さんの義ハ中ゝ古ー事でんま町一丁目西ゞハ
ほて年来賣弘メまりハ処店ゟ其ゆゑ御用向事ゟ於ては
向事ゞゝ引うけりやゝ
中橋南傳馬町二丁目東ゞハ
千葉堂孝輔製

室町源氏胡蝶巻

一名馬坊およし

初編より五編まで　柳亭種彦作

當爻冬賣出し　梅蝶樓國貞画

昔室町殿の落胤に鰈を名に称女使あり生涯肆の擧動して其名一時に高かりき施中難波津の倭橋ゆゑ黄金を駄たる馬を奪ひし一件ハ口碑に傳へて知らぬものなし こゝ此女豪傑を拠とし痴情と義膽の奇しかるべき新案の話を撰綴する作者の苦腸を預主顧に告奉る

紅英堂主人

へ13
3414
82

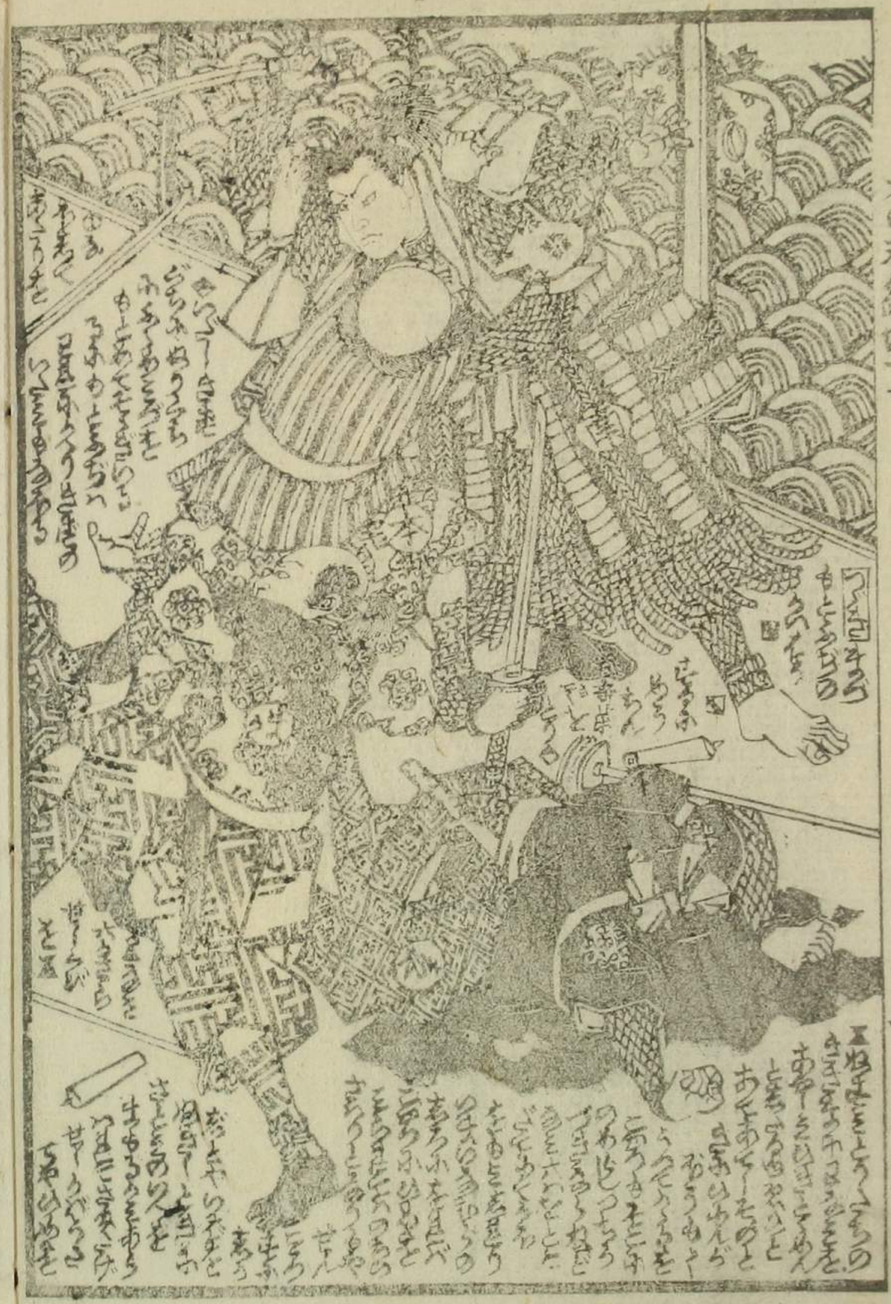
13
3414
82

八犬傳犬草紙

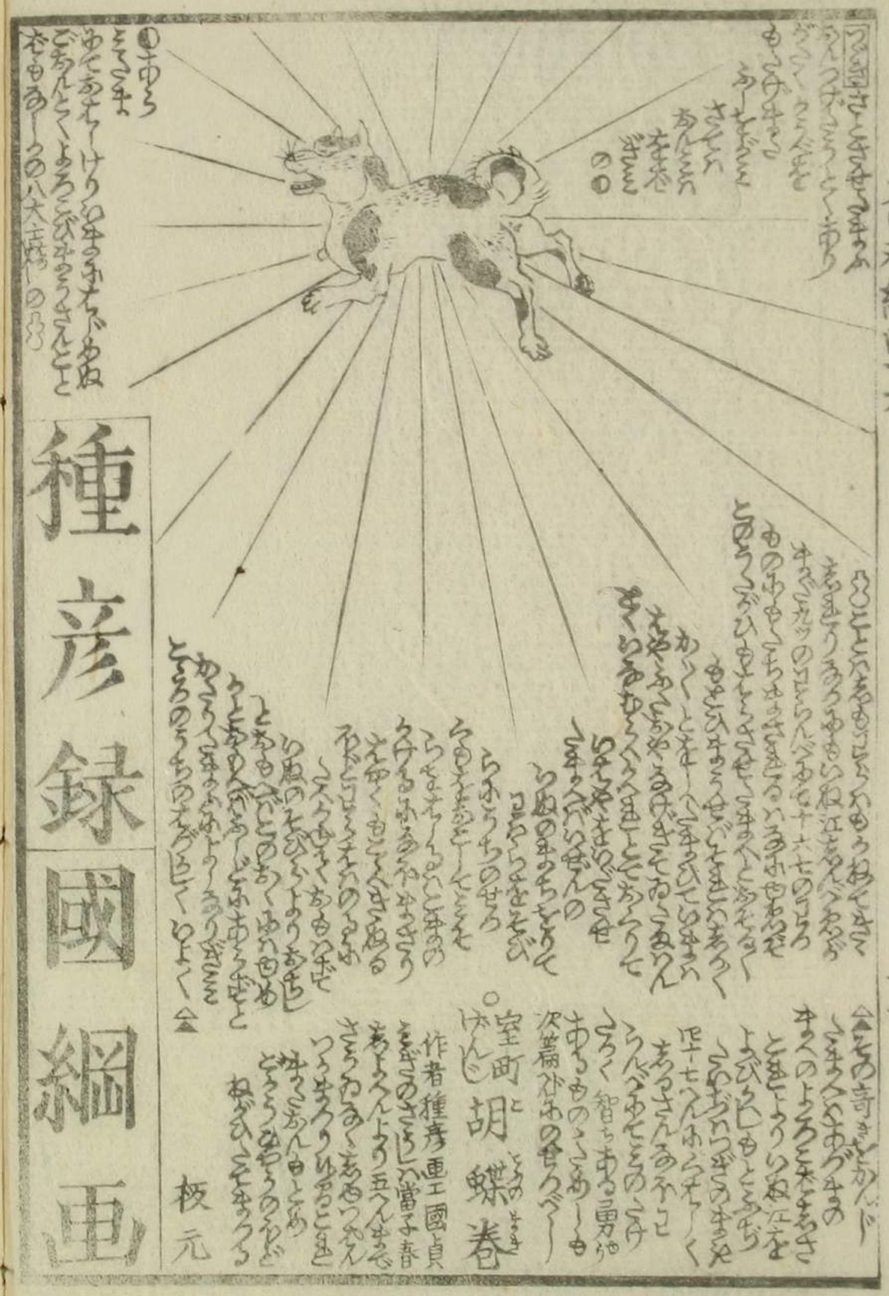
柳亭錄
国綱画

四十六篇
下巻

紅英堂梓



[つゞき]人のこよめ〳〵こをのちをてかくのをゆの
うをちさのうをゆかりのをさゝゝろくかをて
うりこををくらの女中うへをりこをのくへ
をろひいうまてこをまろくりゃん
つゞうをまこゝをまりさの
あろうをものゆくのかんをだら
いものようくひとく



種彦録國綱画

○室町ゆんじ 胡蝶巻

作者種彦画工國貞

次篇ハ此の世ろべし

板元

文久四年甲子陽春開板標目

弘法大師舊跡新話 筆海四國聞書 七篇ハ九篇まで當年出板 柳亭種彦作 梅蝶樓國貞画

倆時次郎 倆浦里 明鴉墨画迺禰襠 八篇ハ十篇まで當年出板 三亭春馬 柳亭種彦合作 梅蝶樓國貞画

假名情談戀畦倉 三編 如皐作 四編 國貞画

童謡妙々車 十七編 種彦作 十八編 國貞画

薄俤幻日記 十二編 春水作 十三編 國貞画

大晦日曙艸紙 廿五編 京山作 大尾豊國画

花封答玉章 八編 種彦作 九編 國貞画

八犬傳犬の双紙 四十六編 柳亭録 四十七編 國綱画

地本双紙問屋

南傳馬町壹丁目 蔦屋吉藏板

八犬傳

雙紙

四十六編

種彦採
國綱画

紅英堂梓

へ13
3414
81-82